

The 2 Chome Times 平成29年12月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO235.

2017・12・25

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス12月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★平成30年、生田神社の春祭（生田祭例祭・氏子奉幣祭）の当番は私達三宮地区です！！

生田祭春季例祭は生田神社の祭典の中でも最も重要な祭典で、氏子地域神戸の安全と繁栄を願う祭典です。



この生田祭は大変歴史があり、古くは寛文3年（西暦1663年）には生田神社神幸祭絵巻（和田岬巡行）にも残されています。

本来は生田神社の氏子地区（中央区、兵庫区）30キロを1日かけて巡行されていたのが、戦後の交通事情により縮小し、現在の形状11地区の当番制（来年は三宮地区が当番！）により奉仕されるようになったようです。そして一年ごとに当番地区の氏子と共に祭りの委員会を組織して、生田祭りを迎えます。生田

神社は古くは桜の名所であり、神社

の紋は八重桜です。祭典奉仕者などは桜を象った鬘（かざし）を着けて奉仕し、祭典中には神楽舞や舞楽、地域の伝統芸能などが奉納されます。斎行にあたっては、お祭りの長を株式会社フェリシモ代表の矢崎和彦さんに総合委員長、名誉総合委員長には前回当番の平成18年に総合委員長をご奉仕なされた株式会社ウエシマコーヒーフーズ特別顧問の上島康男さんが就任され、賑々しく行われる予定です。私どもセンター街2丁目からは久利理事長が総合副委員長に就任すると共に、現在着々と準備がなされています。皆さんも街ぐるみで一致団結、生田祭に参加するとともに一緒に楽しみましょう！！



★宮崎カーフェリーが結ぶ神戸との絆、宮崎に行ってきました！

2014年10月1日に大阪南港から神戸港新港第三突堤（神戸三宮フェリーターミナル）へ移転し、神戸航



路となった宮崎フェリー。移転されて3年余りになり、その経営状況には紆余曲折がありましたが、移転後はお客様の利用も増加し、順調な航路運営に至っているようです。そして神戸市と宮崎県はそのカーフェリーが切っ掛けとなり、お互いの交流促進と産業活性化、防災面などで協力し合うため、平成29年9月17日付けで包括連携協定も結ばれています。この様な経緯があり、この11月26日から宮崎カーフェリーを利用

して久利理事長、サンセンタープラザの安廣社長、神戸市みなと総局の岡田部長が宮崎県の河野知事を表敬訪問しました。その中で神戸は宮崎と関西、名古屋などの中部地区、関東地区への物流移送の所謂ハブ港としての重要な役割を果たしている事、お互いの都市の観光業の魅力を高め、互換し合える事などが話題の中心になり、これからも強固な協力体制を構築して行く事で一致しました。宮崎



カーフェリーも現在、関係機関の協力を仰ぎつつ建造後20年以上経過している船舶を時代のニーズにアップグレードすべく全力を注いでいるのだそうです。新船は神戸行きの便が満船に近い状態が続いているため大型化される予定です。その価格も2隻で100億から140億という大型プロジェクトになっており、完成・就航が本当に楽しみです。皆様もその際には是非是非、宮崎カーフェリーを利用して宮崎の魅力

を満喫して下さい！！ 宮崎カーフェリーホームページ www.miyazakicarferry.com/

宮崎カーフェリー予約センター078-321-3030（関西） 0985-29-5566（九州）

★神戸ルミナリエ期間に合わせ、ライトダウンでおもてなし

23回目となる神戸ルミナリエが12月8日から17日まで開催され、多くの方が神戸に来られました。三宮



センター街2丁目では、その期間に合わせて、通常20時30分から稼働している“ナイトミュージアム”を17時から早期稼働させ、街に来られた皆さんをおもてなししました。日没後のセンター街でアーケードの照明を消灯することで、お店の明かりが目立ち、いつもとは違った雰囲気を感じ、逆に各店舗のウィンドーがより



美しく感じて頂けたと思います。また、路面のストリートミュージアム作品も、いつもはガラスに照明が反射して、少し写真を取るのが難しいのですが、ライトダウンすることでスマートフォンなどでも綺麗に写真を撮ることができました。

以前にもライトニングの勉強会で感じたことですが、灯りの演出が街にとってどれほど大事なのかという事を再認識した今年のルミナリエでした。

★恒例の本年度最終の美化活動でした

19日に今年度最終の美化活動が皆様のお陰で無事終了しました。毎月一回とは言え、継続して行うという意味は本当に重要であると思っています。来街されるお客様は通りが綺麗であることに必ずしも気が付かれないのかもしれませんが、しかしながらその逆で、もし通りが汚れていれば、ほぼ全員の方がその事実に気づかれるのではないのでしょうか。そして決して良くない印象を抱かれたまま、もう二度とお越しになってはいただけないのかもしれませんが、また新たな一年がもうすぐスタートします。最近の皆様のお協力の賜物で、かなり通りも綺麗ですが、気を緩めることなく、来年もさらに清潔な街を目指して行きましょう！皆様の御協力を宜しくお願いいたします。



★三宮ゼロゲート（仮称）、安全祈願祭

12月15日（金）に生田神社に於いて、株式会社パルコ様が三宮センター街2丁目に建築される三宮ゼロ



ゲート新築工事の安全祈願祭が厳粛な雰囲気の中、滞りなく行われました。祈願祭には（株）パルコ代表執行役社長の牧山様をはじめ、（株）久米設計大阪支社常務執行役員支社長の小西様、戸田建設（株）大阪支店常務執行役員支店長の光山様、それにセンター街2丁目振興組合からは久利理事長など20名を超える方々のご参集になり、工事の安全とプロジェクトの成功を祈願いたしました。竣工の際には三宮センター街を代表する商業施設になりますし、私達の本当に力強い仲間として街を牽引して行かれることになります。まだ工事は始まったばかりですが、その完成が心から待ち遠しいですね！



★編集後記 一年間有難う御座居ました

新聞等でも一部発表がありましたが、現在神戸市は三宮駅周辺の再開発を進めており、30年後の新たな都市創りを模索しています。JR三宮駅とそごう、交通センタービル、マルイビルなどに囲まれた周辺全体を「クロススクエア」と呼び、さらにそれを四つの区域に分け、どのように街創りを進めていけば、この区域、あるいは神戸を活性化していけるのかを真剣に検討しています。その検討会に一般人の我々街衆も参加をし、なげなしの知恵を絞っています。30年後の神戸の表玄関口を創造しながら「こんなふうになれば、いやこっちの方がいいんじゃないの？」と喧々譁々のある意味楽しい話し合いになっています。権利関係なども複雑に絡み合っているために、必ずしも理想通りや、簡単には進まないのですが、素敵な街になれば良いと願っている皆さんの熱い想いが感じられます。来年も宜しくお願い致します。